

令和 8 年 度

第 1 ステージ研修  
( 3 年 目 研 修 )

研 修 の 手 引 き

福井県教育委員会

勤務校	職名
氏名	

## 目 次

1	実施要項	1
2	授業実践研究	2
3	各研修の受講	2
4	提出書類等	4
	校外研修の記録・報告書	4
	諸届	4
	レポート	5
	○福井県教員育成指標	6

### 研修についての問合せ先

○福井県教育総合研究所 教職研修センター

TEL(0776)58-2160

E-mail [kyousyoku@pref.fukui.lg.jp](mailto:kyousyoku@pref.fukui.lg.jp)

※メールによるお問い合わせの場合は、件名を「3年目研修問合せ」と表記してください。

○福井県特別支援教育センター

TEL(0776)53-6574

E-mail [tokuse03@pref.fukui.lg.jp](mailto:tokuse03@pref.fukui.lg.jp)

○福井県教育庁嶺南教育事務所

TEL(0770)56-1302

# 1 実施要項

## 1 目的

専門的な教科指導力と授業力の向上を図るとともに、時代に即した教育課題に取り組み、変化への対応力を育む。

## 2 実施主体

福井県教育委員会

## 3 実施期間

令和8年度の1年間

## 4 対象者

- (1) 令和6年度に採用された小学校、中学校、高等学校および特別支援学校の教諭で、2年目研修を受講した者とする。ただし、養護教諭および栄養教諭は除く。
- (2) 当該年度に長期の休暇（休業）を取得することがすでに明らかな場合は、原則として休暇（休業）明けに受講すること。なお、年度途中で長期の休暇（休業）を取得することになった場合は、受講可能な研修を受講し、残りは休暇（休業）明けに受講することとする。いずれの場合も、休暇（休業）からの復帰時期によっては、翌年度の受講となる。

## 5 実施計画

コード	育成指標分類	研修名（研修内容）	実施日時・会場等	備考
—	—	「令和の日本型学校教育」を担う教師の学び 研修ガイダンス	下記3日のうち指定日に受講	
223	素養 生徒指導	学級運営② (個別の課題に対する理解と支援)	4月20日(月) 嶺南教育事務所 4月22日(水) 教育総合研究所	p.2 ③
251	学習指導	校種別研修	4月23日(木) 教育総合研究所	参照
215	学習指導	授業実践研究Ⅳ (授業実践研究の深め方)	いずれも 9:30~16:00	
261b	素養 学習指導 特別な配慮や支援 ふくいのか	授業実践研究の共有 (初任者・2年目・3年目の クロスセッション)	【小・中・高等学校】 下記8日のうち1日選択 10月14日(水) 嶺南教育事務所 15日(木) 教育総合研究所 20日(火) あいぱーく今立(越前市) 22日(木) 教育総合研究所 29日(木) 嶺南教育事務所 30日(金) 教育総合研究所 11月5日(木) 教育総合研究所 6日(金) 教育総合研究所 【特別支援学校】 下記3日のうち1日選択 10月22日(木) 特別支援教育センター 29日(木) 特別支援教育センター 11月5日(木) 特別支援教育センター いずれも 13:30~16:30	p.2 ② ③ 参照
262	素養 学習指導 特別な配慮や支援 ふくいのか	教育実践研究の共有 (初任者・3年目・中堅の クロスセッション)	下記6日のうち1日選択 1月19日(火) 嶺南教育事務所 20日(水) 教育総合研究所 21日(木) 教育総合研究所 28日(木) オンライン 29日(金) あいぱーく今立(越前市) 2月4日(木) オンライン いずれも 13:30~16:30	p.2 ② ③ 参照
216	学習指導 生徒指導	学習指導・生徒指導に関する研修	各自で半日分の研修を選択・申込	p.3 参照
N230	素養	人権教育	9月18日(金) までに受講	p.3 参照

## 2 授業実践研究

授業力向上のためには実践と省察を継続して行う必要がある。3年目研修では、初任から取り組んできた授業実践研究を継続し、第1ステージ研修（旧若手教員研修）3年間の集大成とすることを研修の軸とする。

### 1 授業実践研究Ⅳ コードNo.215（4月）

校種や教科に合わせたグループ構成とし、「授業実践研究の概要」をもとに今年度の授業実践研究の深め方について協議する。

### 2 授業実践研究の共有（初任者・2年目・3年目のクロスセッション）コードNo.261b（10、11月）、 教育実践研究の共有（初任者・3年目・中堅のクロスセッション）コードNo.262（1、2月）

初任者・2年目・3年目のクロスセッション

「授業実践研究（中間報告）」をもとに校種や教科を合わせたグループ協議を通じて、専門的な力量を形成する。

初任者・3年目・中堅のクロスセッション

「授業実践研究（最終報告）」をもとに校種や教科を超えたグループ協議を通じて、他者の視点を意識し、視野を広げる。

## 3 各研修の受講

### 【研修資料のダウンロード】

研修資料は、研修日の2日前から教育総合研究所ホームページ→「Plant」→「研修申込状況」→「【3年目研修】令和8年度3年目研修」→「ダウンロードファイル一覧」よりダウンロードが可能となる。当日は、印刷して持参するか、各自の端末で閲覧できるようにしておく。

※ 詳しくは「Plant」TOP画面の「お知らせ通知受信一覧」にある「研修に際して」を参照

### 1 学級経営②、校種別研修、授業実践研究Ⅳ（コードNo.223、251、215）

#### (1) 期日・会場

嶺南小・中学校勤務者	4月20日（月）	嶺南教育事務所
嶺北中学校、高等学校、特別支援学校勤務者	4月22日（水）	教育総合研究所
嶺北小学校勤務者	4月23日（木）	教育総合研究所

#### (2) 当日の日程

受付 9:00～9:20 研修 9:30～16:00

#### (3) 当日の準備物

- ・第1ステージ研修（3年目研修）の手引き
- ・レポート「授業実践研究の概要」7部（両面印刷）
- ・名札
- ・「令和7年度 2年目研修 教育実践研究 最終報告レポート集」（特別支援学校勤務者のみ）

#### (4) 授業実践研究に関する調査

グループ協議の班編制のため、担当学年等について次のURLまたは二次元コードから回答すること。

【URL】 <https://forms.office.com/r/w2yzvHwtRK>



【回答締切】 令和8年4月6日（月）

### 2 授業実践研究の共有（初任者・2年目・3年目のクロスセッション）コードNo.261b（10、11月）、 教育実践研究の共有（初任者・3年目・中堅のクロスセッション）コードNo.262（1、2月）

#### (1) 当日の日程

受付 13:00～13:20 研修 13:30～16:30

#### (2) 当日の準備物

No.261b：レポート「授業実践研究（中間報告）」7部、  
内履き（あいぱーく今立、特別支援教育センターのみ）

No.262：レポート「授業実践研究（最終報告）」対面の場合7部、オンラインの場合、画面共有  
内履き（あいぱーく今立のみ）

### (3)受講希望日の調査

①No. 261b の受講希望日（第1希望～第3希望）について、次のURLまたは二次元コードから回答すること。（事前に行事予定を確認し、管理職と相談すること。）

〔URL〕 <https://forms.office.com/r/2lzae1Qmez>



【回答締切】 令和8年5月29日（金）

なお、受講決定日は、教育総合研究所から別途文書で通知する。

②No. 262 の受講希望日（第1希望～第3希望）について、次のURLまたは二次元コードから回答すること。（事前に行事予定を確認し、管理職と相談すること。）

〔URL〕 <https://forms.office.com/r/H4rhZ6fpSr>



【回答締切】 令和8年10月16日（金）

なお、受講決定日は、教育総合研究所から別途文書で通知する。

### 3 学習指導・生徒指導に関する研修（コードNo. 216）

県教育庁関係各課、教育総合研究所、嶺南教育事務所、特別支援教育センターおよび幼児教育支援センターが主催する学習指導・生徒指導に関する研修（3時間程度）の中から、各自で申し込むこと。

例：専門教科、担当教科、特別支援教育、特別活動、総合的な学習（探究）の時間、タブレット活用、学習評価、授業づくり全般 など

＜申込方法＞ 教育総合研究所HP→「P l a n t」TOP画面の「お知らせ通知受信一覧」を参照。

※ 申込期間は研修講座によって異なる。定員になり次第、募集を締め切るため、早めに申し込むこと。

＜新任特別支援学級担任教員研修（以下、新特担研修）での代替＞

今年度、特別支援教育センター主催の新特担研修を受講する者は、学習指導・生徒指導に関する研修を新特担研修で代替することができる。代替する場合は、新特担研修の第1研修～第5研修および、選択研修から1つを代替として各自指定し、研修後は、「研修の記録・報告書」に振り返りを記入する。

※ 新特担研修の詳細については、「新任特別支援学級担任教員研修実施要項」を参照すること。

（特別支援教育センターから別途各学校に配付）

### 4 人権教育（コードNo. N230）

＜受講方法＞

・教育総合研究所ホームページ「P l a n t」→「研修申込状況」→「【3年目研修】令和8年度3年目研修」→「URL」にある「人権教育」より動画を視聴する。視聴後は「校外研修の記録・報告書」（様式4）の【概要・感想・成果の活用等】に振り返りを入力する。

・視聴後、教育総合研究所ホームページ「P l a n t」→「研修申込状況」→「【3年目研修】令和8年度3年目研修」→「テスト一覧」より「人権教育テスト」を受けて受講完了となる。

＜受講期間＞

8月下旬～9月18日（金）

※ 視聴可能となる日時は「P l a n t」の「お知らせ通知受信一覧」にて通知する。

## 4 提出書類等

### 1 校外研修の記録・報告書（様式4）

様式は教育総合研究所ホームページ「教員研修」→「基本研修、職務研修」→「3年目研修」からダウンロードして作成し、提出する。（作成したものは必ず管理職と共有すること。）

#### (1) 「校外研修の記録・報告書」の作成

毎回の研修終了後に受講日および会場、概要・感想・成果の活用等を入力する。

#### (2) 提出方法

1年間の研修終了後、下記〔提出経路〕に従いデータを管理職を通じてメールにて提出する。

※ 延期願を提出した研修については、該当研修の欄に「次年度に延期」と入力する。

※ 年度途中で研修を受講できなくなった場合は、その時点での記録・報告書を提出する。

・ファイル形式：PDF

・ファイル名：職員番号【勤務校略称\_氏名（フルネーム）】3年目研\_記録・報告書

（例）249999【勤務校略称\_氏名（フルネーム）】3年目研\_記録・報告書

・締切：市町小・中学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・令和9年2月26日（金）

高等学校、県立中学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・令和9年3月5日（金）

特別支援学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・令和9年2月26日（金）

### 2 諸届

研修を欠席、延期する場合は、事前に管理職を通じて担当機関に問い合わせた上で、必要に応じて校長が次の欠席届または延期願を作成し、下記の提出経路のとおりデータをメールにて提出する。

欠席届（共通様式1）・・・年度内に代替研修の受講が可能な場合

延期願（共通様式2）・・・受講が次年度以降になる場合

・様式：教育総合研究所ホームページ「教員研修」→「欠席届、延期願」からダウンロード

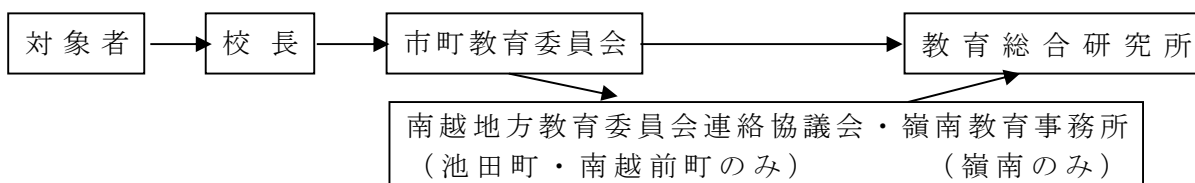
・ファイル形式：PDF

・ファイル名：【勤務校略称\_氏名（フルネーム）】欠席届または延期願

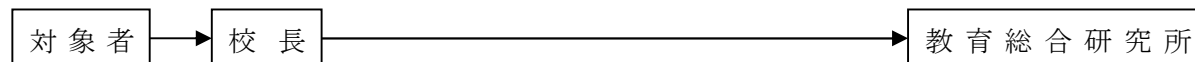
※ 特別支援教育センターに提出する場合は、宛名に「特別支援教育センター所長」も併記する。

#### 〔提出経路〕

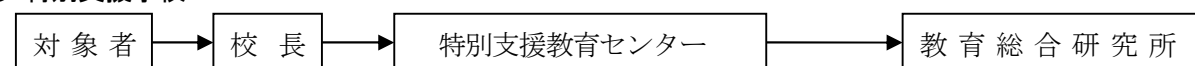
##### ○ 市町小・中学校



##### ○ 高等学校、県立中学校



##### ○ 特別支援学校



教育総合研究所 教職研修センター	E-mail	kyousyoku@pref.fukui.lg.jp
特別支援教育センター	E-mail	tokuse03@pref.fukui.lg.jp

※ メール送信の際は、件名に「3年目研修」を表記してください。

（例）「3年目研修」欠席届【福井小\_春江太郎】

### 3 レポート

様式は、教育総合研究所ホームページ「教員研修」→「基本研修、職務研修」→「3年目研修」よりダウンロードする。

- (1) 「授業実践研究の概要」（様式1）A4判たて、1ページ程度  
コードNo. 215 のグループ協議時に、7部持参し、5月8日（金）までに下記のとおり提出する。  
<提出方法>  
教育総合研究所ホームページ「P l a n t」→「研修申込状況」→「【3年目研修】令和8年度3年目研修」→「課題・アンケート一覧」から提出する。  
※ 詳しくは「P l a n t」TOP画面の「お知らせ通知受信一覧」にある「研修に際して」を参照  
・ファイル形式：PDF  
・ファイル名：職員番号【勤務校略称\_氏名（フルネーム）】概要  
（例）249999【福井小\_春江太郎】概要
- (2) 「授業実践研究（中間報告）」（様式2）A4判たて、2ページ程度  
10月2日（金）までに(1)と同様の提出方法で提出する。  
・ファイル形式：PDF  
・ファイル名：職員番号【勤務校略称\_氏名（フルネーム）】中間報告  
コードNo. 261b（10、11月クロスセッション）の際に7部持参する。
- (3) 「授業実践研究（最終報告）」（様式3）A4判たて、3～5ページ  
コードNo. 262（1、2月クロスセッション）の際に、対面の場合7部持参する。オンラインの場合、画面共有できるようにする。  
1、2月クロスセッション受講後、一週間以内に(1)と同様の提出方法で提出する。  
・ファイル形式：PDF  
・ファイル名：職員番号【勤務校略称\_氏名（フルネーム）】最終報告



福井の教育が目指す育てたい人間像 ○多様な人々の存在を認め、協働して新たな価値を生ま出す人 ○ふらふらと自然を愛し、いつどこにいても社会や地域に貢献する人

福井が求める教師像 ●専門分野に偏らない幅広い教養を身につけ、自立した社会人としての良識や幅広い視野を持った人 ●教育に対する情熱・使命感に燃え、常に学び続ける向上心を持った人

## 福井県教員育成指標

教諭	第1ステージ		第2ステージ		第3ステージ	
	福井県が求める採用時の姿	教員としての基礎を固める	中堅教員・ミドルリーダーとして教育活動を牽引する	経験を生かして指導・助言し、組織的な運営をする	トップリーダーとして教育活動を推進する	
<b>教員としての姿</b> ●子どものウェルビーイングを高め、豊かな人間性を育む熱意 ●持続可能な社会の創り手を育成する使命感、責任感 ●子どもの命を守る安全・危機管理の理解 ●服務規律・法令の理解と遵守 ●確かな人権意識と豊かな人間性 ●多様な人々の理解と平等なコミュニケーションによる良好な人間関係の構築 ●学校現場の実態や教育改革の動向の把握、社会の変化を前向きに受け止める意欲 ●自身の健康、モチベーションを高める取組 ●協働的活動への積極的参加による関係性の構築 ●OJTや校内研修の意義の理解 ●子どもや保護者と教員の相互理解の重要性の理解 ●主体的・対話的で深い学びへの理解 ●子どもや保護者の育成に資する教材等に関する専門性 ●子どもの多様な特性や学習状況に応じた授業展開への理解 ●探究的な学習の過程に即した学習活動・授業改善への理解 ●継続的・総合的な学習で育成される子どもの資質・能力の理解 ●社会や地域となつた教育活動への理解	<b>教員としての基礎を固める</b> ●子ども一人ひとりのよさや可能性を伸ばす姿勢 ●認め合い・励まし合い・支え合う集団づくりと個別の子どもの状況に応じた配慮への理解 ●課題未然防止教育の理解 ●子どもの実情や背景の把握と報告・連絡・相談による組織的対応の理解 ●子ども一人ひとりのよさや可能性を伸ばす姿勢 ●認め合い・励まし合い・支え合う集団づくりと個別の子どもの状況に応じた配慮への理解 ●課題未然防止教育の理解 ●子どもの実情や背景の把握と報告・連絡・相談による組織的対応の理解 ●子ども一人ひとりのよさや可能性を伸ばす姿勢 ●認め合い・励まし合い・支え合う集団づくりと個別の子どもの状況に応じた配慮への理解 ●課題未然防止教育の理解 ●子どもの実情や背景の把握と報告・連絡・相談による組織的対応の理解	<b>経験を生かして指導・助言し、組織的な運営をする</b> ●子ども一人ひとりのよさや可能性を伸ばす姿勢 ●認め合い・励まし合い・支え合う集団づくりと個別の子どもの状況に応じた配慮への理解 ●課題未然防止教育の理解 ●子どもの実情や背景の把握と報告・連絡・相談による組織的対応の理解 ●子ども一人ひとりのよさや可能性を伸ばす姿勢 ●認め合い・励まし合い・支え合う集団づくりと個別の子どもの状況に応じた配慮への理解 ●課題未然防止教育の理解 ●子どもの実情や背景の把握と報告・連絡・相談による組織的対応の理解	<b>経験を生かして指導・助言し、組織的な運営をする</b> ●子ども一人ひとりのよさや可能性を伸ばす姿勢 ●認め合い・励まし合い・支え合う集団づくりと個別の子どもの状況に応じた配慮への理解 ●課題未然防止教育の理解 ●子どもの実情や背景の把握と報告・連絡・相談による組織的対応の理解 ●子ども一人ひとりのよさや可能性を伸ばす姿勢 ●認め合い・励まし合い・支え合う集団づくりと個別の子どもの状況に応じた配慮への理解 ●課題未然防止教育の理解 ●子どもの実情や背景の把握と報告・連絡・相談による組織的対応の理解	<b>トップリーダーとして教育活動を推進する</b> ●教育者としての素養を磨き、教諭に関する見識を高める姿勢 ●学校教育の持続的改善に向けた保護者や地域、関係機関との信頼関係の構築 ●明確な教育理念・状況に応じた的確な判断、迅速な合理的な決断 ●学校教育を取り巻く環境の変化への適応 ●教育資源の開発・活用 ●内外環境に関する情報の収集・整理、データや理論に基づいた分析、関係者との共有 ●多様な人材の能力や特徴、価値観の理解と公正な評価 ●多様な専門性等を有する人材が円滑にコミュニケーションを取れる心理的安全性の確保 ●保護者や地域、関係機関や業界等との折衝・協働による相互作用の促進 ●学校の置かれた状況や教育課題の把握と、明確な経営ビジョンの提示 ●経営ビジョンの教職員との共有、地域や保護者への発信による連携・協働の促進 ●教育課程および教育活動の評価、改善と組織的な学習運営による特色ある学校づくり ●多様な子どもにも対する個別最適な支援の工夫、多様な教育的ニーズへの組織的対応 ●目標達成に向けた適切な役割分担の設計、教職員への適性を生かした業務分担、役割の明確化 ●多様な専門性等を有する人材が活み等を生かして連携・協働できる体制構築の工夫 ●教師同士の手引き合いを促進する環境整備・雰囲気づくり	<b>トップリーダーとして教育活動を推進する</b> ●教育者としての素養を磨き、教諭に関する見識を高める姿勢 ●学校教育の持続的改善に向けた保護者や地域、関係機関との信頼関係の構築 ●明確な教育理念・状況に応じた的確な判断、迅速な合理的な決断 ●学校教育を取り巻く環境の変化への適応 ●教育資源の開発・活用 ●内外環境に関する情報の収集・整理、データや理論に基づいた分析、関係者との共有 ●多様な人材の能力や特徴、価値観の理解と公正な評価 ●多様な専門性等を有する人材が円滑にコミュニケーションを取れる心理的安全性の確保 ●保護者や地域、関係機関や業界等との折衝・協働による相互作用の促進 ●学校の置かれた状況や教育課題の把握と、明確な経営ビジョンの提示 ●経営ビジョンの教職員との共有、地域や保護者への発信による連携・協働の促進 ●教育課程および教育活動の評価、改善と組織的な学習運営による特色ある学校づくり ●多様な子どもにも対する個別最適な支援の工夫、多様な教育的ニーズへの組織的対応 ●目標達成に向けた適切な役割分担の設計、教職員への適性を生かした業務分担、役割の明確化 ●多様な専門性等を有する人材が活み等を生かして連携・協働できる体制構築の工夫 ●教師同士の手引き合いを促進する環境整備・雰囲気づくり	
<b>学習指導</b> ●子どもの発達を支える働きかけ ●課題未然防止・早期発見 ●困難課題への対応	<b>子ども一人ひとりのよさや可能性を伸ばす姿勢</b> ●認め合い・励まし合い・支え合う集団づくりと個別の子どもの状況に応じた配慮への理解 ●課題未然防止教育の理解 ●子どもの実情や背景の把握と報告・連絡・相談による組織的対応の理解 ●子ども一人ひとりのよさや可能性を伸ばす姿勢 ●認め合い・励まし合い・支え合う集団づくりと個別の子どもの状況に応じた配慮への理解 ●課題未然防止教育の理解 ●子どもの実情や背景の把握と報告・連絡・相談による組織的対応の理解	<b>子ども一人ひとりのよさや可能性を伸ばす姿勢</b> ●認め合い・励まし合い・支え合う集団づくりと個別の子どもの状況に応じた配慮への理解 ●課題未然防止教育の理解 ●子どもの実情や背景の把握と報告・連絡・相談による組織的対応の理解 ●子ども一人ひとりのよさや可能性を伸ばす姿勢 ●認め合い・励まし合い・支え合う集団づくりと個別の子どもの状況に応じた配慮への理解 ●課題未然防止教育の理解 ●子どもの実情や背景の把握と報告・連絡・相談による組織的対応の理解	<b>子ども一人ひとりのよさや可能性を伸ばす姿勢</b> ●認め合い・励まし合い・支え合う集団づくりと個別の子どもの状況に応じた配慮への理解 ●課題未然防止教育の理解 ●子どもの実情や背景の把握と報告・連絡・相談による組織的対応の理解 ●子ども一人ひとりのよさや可能性を伸ばす姿勢 ●認め合い・励まし合い・支え合う集団づくりと個別の子どもの状況に応じた配慮への理解 ●課題未然防止教育の理解 ●子どもの実情や背景の把握と報告・連絡・相談による組織的対応の理解	<b>子ども一人ひとりのよさや可能性を伸ばす姿勢</b> ●認め合い・励まし合い・支え合う集団づくりと個別の子どもの状況に応じた配慮への理解 ●課題未然防止教育の理解 ●子どもの実情や背景の把握と報告・連絡・相談による組織的対応の理解 ●子ども一人ひとりのよさや可能性を伸ばす姿勢 ●認め合い・励まし合い・支え合う集団づくりと個別の子どもの状況に応じた配慮への理解 ●課題未然防止教育の理解 ●子どもの実情や背景の把握と報告・連絡・相談による組織的対応の理解	<b>子ども一人ひとりのよさや可能性を伸ばす姿勢</b> ●認め合い・励まし合い・支え合う集団づくりと個別の子どもの状況に応じた配慮への理解 ●課題未然防止教育の理解 ●子どもの実情や背景の把握と報告・連絡・相談による組織的対応の理解 ●子ども一人ひとりのよさや可能性を伸ばす姿勢 ●認め合い・励まし合い・支え合う集団づくりと個別の子どもの状況に応じた配慮への理解 ●課題未然防止教育の理解 ●子どもの実情や背景の把握と報告・連絡・相談による組織的対応の理解	
<b>生徒指導</b> ●課題未然防止・早期発見 ●困難課題への対応	<b>課題未然防止教育の理解</b> ●子どもの実情や背景の把握と報告・連絡・相談による組織的対応の理解 ●子ども一人ひとりのよさや可能性を伸ばす姿勢 ●認め合い・励まし合い・支え合う集団づくりと個別の子どもの状況に応じた配慮への理解 ●課題未然防止教育の理解 ●子どもの実情や背景の把握と報告・連絡・相談による組織的対応の理解	<b>課題未然防止教育の理解</b> ●子どもの実情や背景の把握と報告・連絡・相談による組織的対応の理解 ●子ども一人ひとりのよさや可能性を伸ばす姿勢 ●認め合い・励まし合い・支え合う集団づくりと個別の子どもの状況に応じた配慮への理解 ●課題未然防止教育の理解 ●子どもの実情や背景の把握と報告・連絡・相談による組織的対応の理解	<b>課題未然防止教育の理解</b> ●子どもの実情や背景の把握と報告・連絡・相談による組織的対応の理解 ●子ども一人ひとりのよさや可能性を伸ばす姿勢 ●認め合い・励まし合い・支え合う集団づくりと個別の子どもの状況に応じた配慮への理解 ●課題未然防止教育の理解 ●子どもの実情や背景の把握と報告・連絡・相談による組織的対応の理解	<b>課題未然防止教育の理解</b> ●子どもの実情や背景の把握と報告・連絡・相談による組織的対応の理解 ●子ども一人ひとりのよさや可能性を伸ばす姿勢 ●認め合い・励まし合い・支え合う集団づくりと個別の子どもの状況に応じた配慮への理解 ●課題未然防止教育の理解 ●子どもの実情や背景の把握と報告・連絡・相談による組織的対応の理解	<b>課題未然防止教育の理解</b> ●子どもの実情や背景の把握と報告・連絡・相談による組織的対応の理解 ●子ども一人ひとりのよさや可能性を伸ばす姿勢 ●認め合い・励まし合い・支え合う集団づくりと個別の子どもの状況に応じた配慮への理解 ●課題未然防止教育の理解 ●子どもの実情や背景の把握と報告・連絡・相談による組織的対応の理解	
<b>特別支援</b> ●課題未然防止・早期発見 ●困難課題への対応	<b>課題未然防止教育の理解</b> ●子どもの実情や背景の把握と報告・連絡・相談による組織的対応の理解 ●子ども一人ひとりのよさや可能性を伸ばす姿勢 ●認め合い・励まし合い・支え合う集団づくりと個別の子どもの状況に応じた配慮への理解 ●課題未然防止教育の理解 ●子どもの実情や背景の把握と報告・連絡・相談による組織的対応の理解	<b>課題未然防止教育の理解</b> ●子どもの実情や背景の把握と報告・連絡・相談による組織的対応の理解 ●子ども一人ひとりのよさや可能性を伸ばす姿勢 ●認め合い・励まし合い・支え合う集団づくりと個別の子どもの状況に応じた配慮への理解 ●課題未然防止教育の理解 ●子どもの実情や背景の把握と報告・連絡・相談による組織的対応の理解	<b>課題未然防止教育の理解</b> ●子どもの実情や背景の把握と報告・連絡・相談による組織的対応の理解 ●子ども一人ひとりのよさや可能性を伸ばす姿勢 ●認め合い・励まし合い・支え合う集団づくりと個別の子どもの状況に応じた配慮への理解 ●課題未然防止教育の理解 ●子どもの実情や背景の把握と報告・連絡・相談による組織的対応の理解	<b>課題未然防止教育の理解</b> ●子どもの実情や背景の把握と報告・連絡・相談による組織的対応の理解 ●子ども一人ひとりのよさや可能性を伸ばす姿勢 ●認め合い・励まし合い・支え合う集団づくりと個別の子どもの状況に応じた配慮への理解 ●課題未然防止教育の理解 ●子どもの実情や背景の把握と報告・連絡・相談による組織的対応の理解	<b>課題未然防止教育の理解</b> ●子どもの実情や背景の把握と報告・連絡・相談による組織的対応の理解 ●子ども一人ひとりのよさや可能性を伸ばす姿勢 ●認め合い・励まし合い・支え合う集団づくりと個別の子どもの状況に応じた配慮への理解 ●課題未然防止教育の理解 ●子どもの実情や背景の把握と報告・連絡・相談による組織的対応の理解	
<b>情報活用能力</b> ●ICTに関する基礎的な技能の習得 ●学校におけるデータ活用	<b>ICTに関する基礎的な技能の習得</b> ●学校におけるデータ活用	<b>ICTに関する基礎的な技能の習得</b> ●学校におけるデータ活用	<b>ICTに関する基礎的な技能の習得</b> ●学校におけるデータ活用	<b>ICTに関する基礎的な技能の習得</b> ●学校におけるデータ活用	<b>ICTに関する基礎的な技能の習得</b> ●学校におけるデータ活用	
<b>ふくむ力の</b> ●「ふらふらと自然を愛し、いつどこにいても社会や地域に貢献する人」 ●「子ども一人ひとりの個性を「引き出す教育」を推進」 ●「ふらふらと自然を愛し、いつどこにいても社会や地域に貢献する人」 ●「子ども一人ひとりの個性を「引き出す教育」を推進」	<b>「ふらふらと自然を愛し、いつどこにいても社会や地域に貢献する人」</b> ●「子ども一人ひとりの個性を「引き出す教育」を推進」	<b>「ふらふらと自然を愛し、いつどこにいても社会や地域に貢献する人」</b> ●「子ども一人ひとりの個性を「引き出す教育」を推進」	<b>「ふらふらと自然を愛し、いつどこにいても社会や地域に貢献する人」</b> ●「子ども一人ひとりの個性を「引き出す教育」を推進」	<b>「ふらふらと自然を愛し、いつどこにいても社会や地域に貢献する人」</b> ●「子ども一人ひとりの個性を「引き出す教育」を推進」	<b>「ふらふらと自然を愛し、いつどこにいても社会や地域に貢献する人」</b> ●「子ども一人ひとりの個性を「引き出す教育」を推進」	
<b>福井の教育の継承</b> ●「ふらふらと自然を愛し、いつどこにいても社会や地域に貢献する人」 ●「子ども一人ひとりの個性を「引き出す教育」を推進」	<b>「ふらふらと自然を愛し、いつどこにいても社会や地域に貢献する人」</b> ●「子ども一人ひとりの個性を「引き出す教育」を推進」	<b>「ふらふらと自然を愛し、いつどこにいても社会や地域に貢献する人」</b> ●「子ども一人ひとりの個性を「引き出す教育」を推進」	<b>「ふらふらと自然を愛し、いつどこにいても社会や地域に貢献する人」</b> ●「子ども一人ひとりの個性を「引き出す教育」を推進」	<b>「ふらふらと自然を愛し、いつどこにいても社会や地域に貢献する人」</b> ●「子ども一人ひとりの個性を「引き出す教育」を推進」	<b>「ふらふらと自然を愛し、いつどこにいても社会や地域に貢献する人」</b> ●「子ども一人ひとりの個性を「引き出す教育」を推進」	
<b>資質・能力に関する観点</b> ●「ふらふらと自然を愛し、いつどこにいても社会や地域に貢献する人」 ●「子ども一人ひとりの個性を「引き出す教育」を推進」	<b>「ふらふらと自然を愛し、いつどこにいても社会や地域に貢献する人」</b> ●「子ども一人ひとりの個性を「引き出す教育」を推進」	<b>「ふらふらと自然を愛し、いつどこにいても社会や地域に貢献する人」</b> ●「子ども一人ひとりの個性を「引き出す教育」を推進」	<b>「ふらふらと自然を愛し、いつどこにいても社会や地域に貢献する人」</b> ●「子ども一人ひとりの個性を「引き出す教育」を推進」	<b>「ふらふらと自然を愛し、いつどこにいても社会や地域に貢献する人」</b> ●「子ども一人ひとりの個性を「引き出す教育」を推進」	<b>「ふらふらと自然を愛し、いつどこにいても社会や地域に貢献する人」</b> ●「子ども一人ひとりの個性を「引き出す教育」を推進」	

※ 資質・能力に関する6つの観点「ふらふらと自然を愛し、いつどこにいても社会や地域に貢献する人」「子ども一人ひとりの個性を「引き出す教育」を推進」「ICT等の利活用」「ふくむ力の」は相互に関連し合っている。